

温かい学級づくりのために



子どもたちが安心して楽しく学校生活を送るための、学級づくりの取組例やアイデア、資料等を掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 高知県における小・中学校の現状と課題 …… 1 | 資料 (RV-PDCA サイクルを活用した学級支援シート) 小学校 …… 9 |
| 2 温かい学級づくり …… 3 | 資料 (RV-PDCA サイクルを活用した学級支援シート) 中学校 …… 10 |
| 3 Q-U を活用した学級づくり …… 3 | |
| 4 学級づくりのための取組例 …… 7 | |

はじめに

今、なぜ学級づくりか？

高知県の小・中学校における児童生徒の不登校出現率及び全国学力・学習状況調査の結果は、全体としては徐々に改善状況にはありますが、依然として厳しい状況が続いています。

これらの課題の解決に向けて、今再び重要性が指摘されているのが学級経営です。学級集団の状態によって、学力の定着やいじめの発生率が大きく異なることは、すでに研究結果から明らかになっています。

つまり、高知県の喫緊の課題であるいじめや不登校の予防や学力向上のためにも、よりよい学級づくりの研究や取組が不可欠であると言えます。

温かい学級づくり応援事業の概要

そこで、高知県心の教育センターでは、「楽しい学校生活を送るためのアンケート Q-U（以下 Q-U）」の活用を通して、不登校等を早期に発見、予防し、子どもたちが安心して楽しい学校生活を過ごせる学級づくりを推進する「温かい学級づくり応援事業」を展開してきました。

平成22年度からは3校の研究協力校を指定、平成23年度からは、「学級づくりリーダー養成研修会」として、学級経営の基本を身に付けた「学級づくりリーダー」を育成するための研修を実施しています。

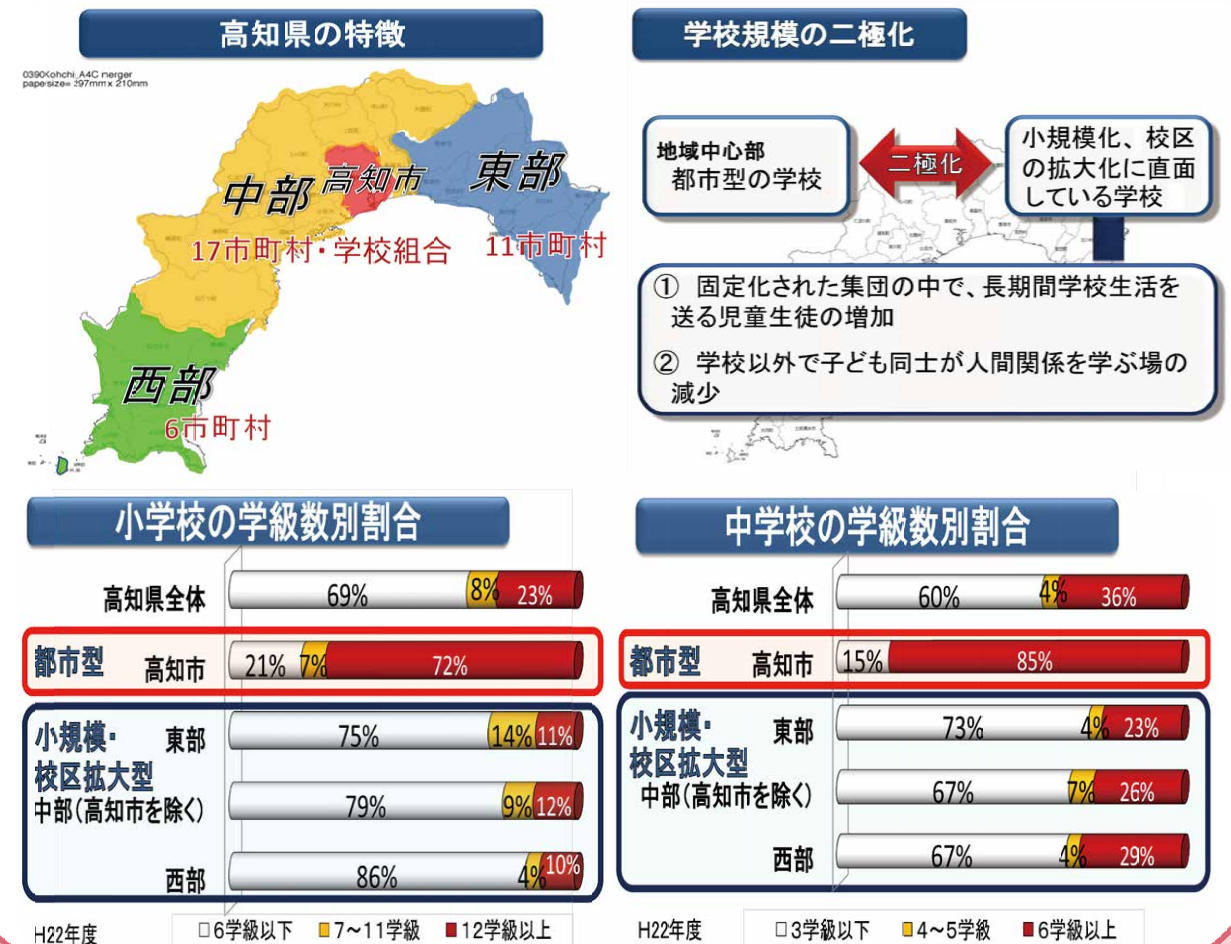
本リーフレットは、研究協力校やリーダー養成研修会における研修内容の一部をまとめたものです。

1 高知県における小・中学校の現状と課題

(1) 学校規模の2極化

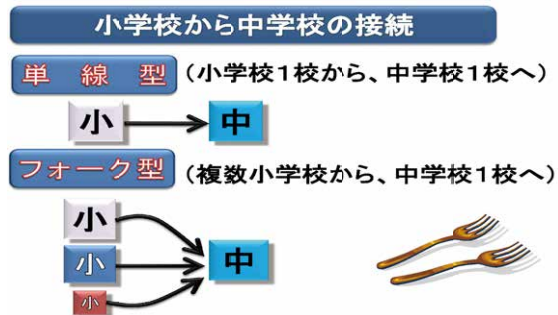
高知県は、少子化、過疎化に直面しており、学校規模で分類すると、地域中心部のいわゆる「都市型」と、小規模化や校区の拡大化に直面している「小規模・校区拡大型」の2極化が起っています。

そして「都市型」以外では、小学校、中学校とも、同じメンバーで長期間学校生活を送る学校が多くなってきています。

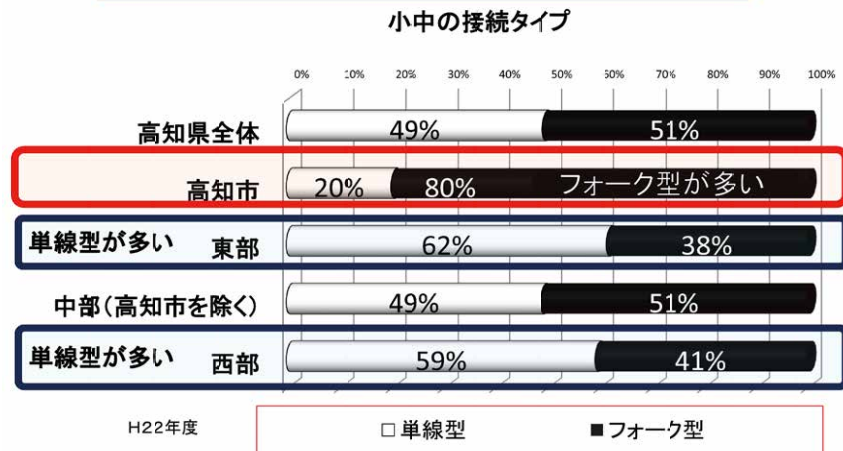


(2) 小学校から中学校への接続タイプによる課題

高知県の中学校を小学校から中学校への接続の型で分類すると、下図のように高知市ではフォーク型が圧倒的に多く、東部、西部では単線型が多くなっています。



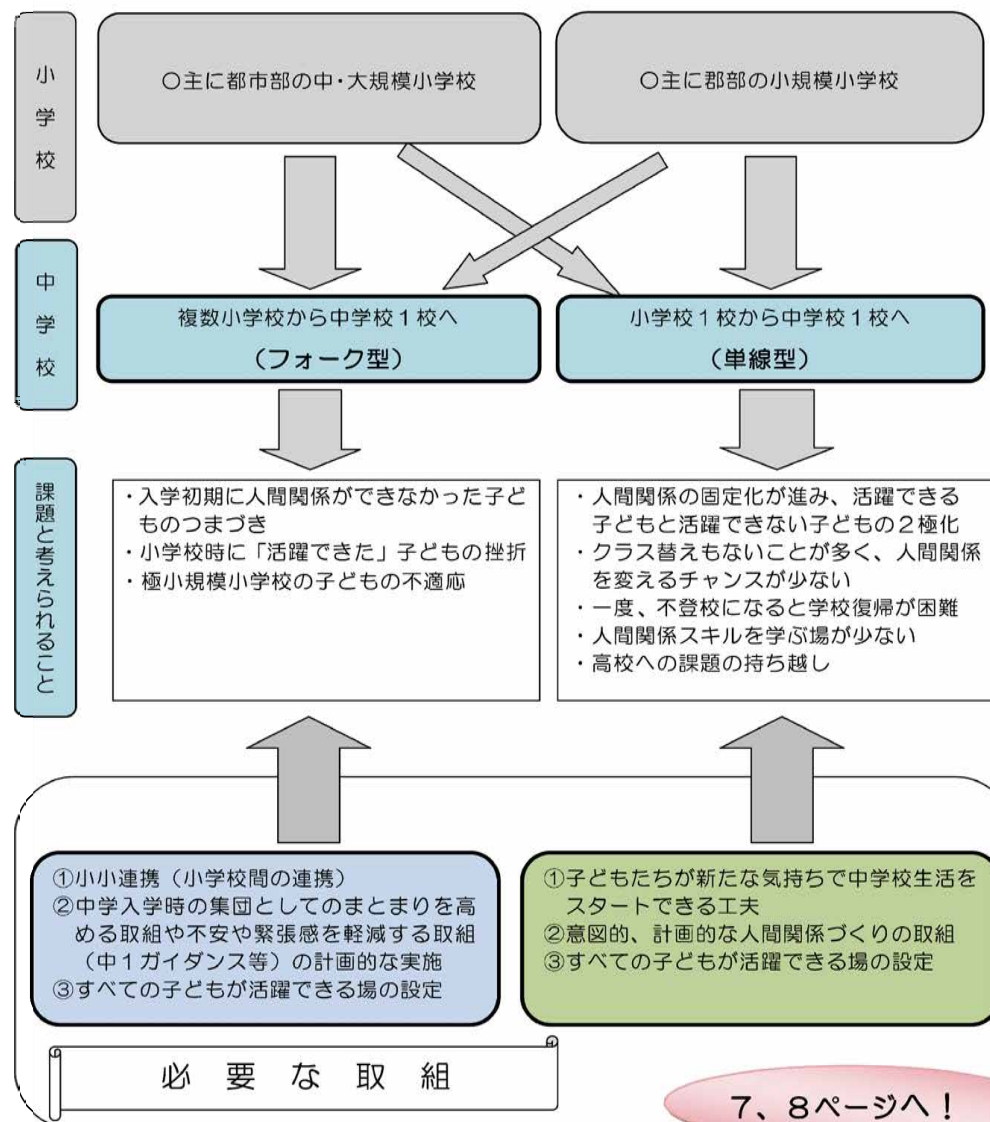
単線型とフォーク型



不登校予防や、人間関係づくりには、実態や特徴に応じた学級経営が、ますます重要になってきていると言えます。

(3) 高知県における小・中学校の現状と課題を踏まえた学級づくりにおける必要な取組

高知県における小・中学校の現状と課題、人間関係づくりにおける必要な取組



高知県教育委員会『平成19年度思春期特有の教育の在り方の研究プロジェクトチーム報告書』より一部改変

2 温かい学級づくり

児童生徒が安心して過ごすことができ、他者とのかかわりの中で自らのよさを発揮できる学級

互いのよさや
可能性を認めあえる
仲間づくり

人間関係づくり 集団遊び 日々の授業（ペア・班学習など） 学校行事 日記・作文 学級活動（係り・掃除・給食など）



安心して過ごせる
環境づくり

学級のルールづくり（安心と規律）
指導の基本姿勢 言語環境を整える
教室・学校の環境整備（掲示物・ロッカーなど）

一人ひとりが大切にされる
授業づくり

学習機会の保障
話し合い活動 肯定的評価
学習形態の工夫 個に応じた指導
導入や発問の工夫 人権学習など

人権教育の指導方法等の在り方について[第二次取りまとめ・三次取りまとめ]参照

人権教育を基盤とした温かい学級づくりの基本となるのは教職員の人権感覚です！

人権が尊重されているが侵害されているのが敏感に感じ取る感覚

3 Q-U を活用した学級づくり

Q-U は、早稲田大学の河村茂雄教授が開発されたアンケートです。教師の日常観察や面接を補い、個々の児童生徒の状態及び学級の状態を理解するための資料として活用することができます。

(1) Q-U 実施後に必ずすること（ここでは、学級満足度尺度の理解と活用を中心に取り上げています）

学級生活不満足群（特に、要支援群）の子どもへの個別支援

早急につながるのある教師との個別面談・校内支援委員会（コーディネーション委員会）で支援の方向性を確認・学校全体での見守り

ヘルプシグナルのチェック

子どもたちが SOS を発している、特に、注意したい質問項目

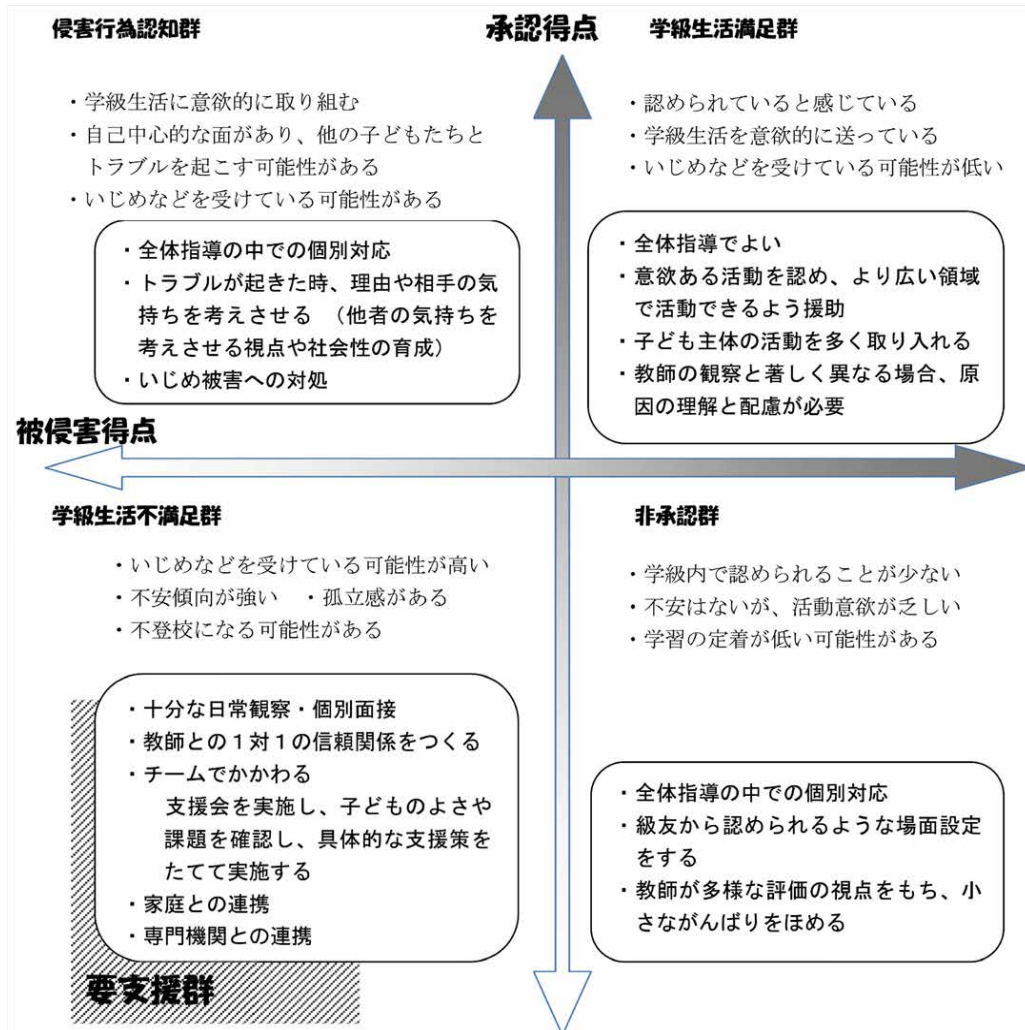
小学校：問 8・問 9・問 12 中学校：問 11・問 14・問 19

*この質問に高い得点で回答している児童生徒は、学級生活に不適応を起し、苦戦している可能性が高くなっています。

先生に求められていること：「わからないことをわかってもらう態度や努力」 「わからないことは、子どもに聴いてみる」

(2) Q-U を活用した児童生徒理解と対応

学級満足度尺度は、承認得点（級友から受け入れられ、考え方や感情が大切にされていると感じているか）と被侵害得点（トラブルやいじめなどの不安がないか）のふたつの尺度から、構成されています。それぞれの群の子どもの特徴と対応のポイントを示しています。



(3) Q-U を活用した学級理解と対応

いろいろな学級集団と対応

学級満足度尺度の分布の様子から、現在の学級集団がどのような状態かを捉えることができます。

このリーフレットでは、学級の子どもたちの分布の様子をもとに、5つのタイプの分類に基づいて、対応のアイデアや具体的な活動を紹介します。自分の学級に近いタイプの対応を参考に、ご活用ください。

対応のアイデアは…

5、6ページへ！

活動例は…

7、8ページへ！

RV-PDCA サイクルに基づいた学級経営

高知県心の教育センターでは、年2回のQ-U実施を効果的に活用するために、1年間の学級経営の取組や成果をまとめることのできる「学級支援シート」を作成しました。ぜひ、ご活用ください（Word版、記入例については、HPをご参照ください）。

9、10ページへ！

Q-Uの結果を活用した学級づくりのアイデア集

分布の状態	日常で子どもへのかかわり	授業	学級づくりの取組のポイント
1 右上に集まった分布（ルールとリレーションが確立している状態） 	<input type="checkbox"/> 自治的な学級づくりを進める。 <input type="checkbox"/> ルールから、マナーへ。	<input type="checkbox"/> 子どもが主体となった学習を展開。	<input type="checkbox"/> 不安や悩みなど自分の内面について自己開示する構成的グループエンカウンター（SGE）が可能。 <input type="checkbox"/> じっくり時間をかけて取り組む活動が可能。
2 縦に伸びた分布（リレーションづくりが必要な状態） 	◎子どもと教師のリレーション <input type="checkbox"/> 学級の子どもに必ず1日1回は肯定的な声かけを行う。 <input type="checkbox"/> 教師の自己開示を行う（小学校時代の話をするなど）。 <input type="checkbox"/> 朝の会で一人ひとり名前を呼び、アイコンタクトを行う。 <input type="checkbox"/> 朝や長い休み時間、放課後などに、子どもたちと遊んだり、雑談をする。 <input type="checkbox"/> 連絡帳や日記等を活用する。 ◎子どもどうしのリレーション <input type="checkbox"/> まずは隣または前後程度から、班などの小集団、学級集団の関係づくりへと人間関係づくりを進める。 <input type="checkbox"/> 帰りの会での「今日のキラリさん」「今日のMVP」。	<input type="checkbox"/> はじめはワークシートやノートに記入したものをもとに交流する。 <input type="checkbox"/> 多様な考えが出せるような発問を工夫する。 <input type="checkbox"/> ゲーム性の高い活動を時々入れる。 <input type="checkbox"/> ペア学習→グループ学習の時間を多くとっていく。 <input type="checkbox"/> グループはできるだけ少人数にして交流時間を多くとる。 <input type="checkbox"/> ほめるための多様な視点を持つ。 <input type="checkbox"/> 話し合いができたか、協力できたかを評価の観点に入れる。	<input type="checkbox"/> SGEの活用。 <input type="checkbox"/> ワークシートを使った「いいところ探し」。 <input type="checkbox"/> SGEを行事と連動させると効果的。 <input type="checkbox"/> ささまざまな子どもたちがリーダーになれるように行事等の役割を工夫する。
3 横に伸びた分布（ルールづくりが必要な状態） 	◎一人ひとりを大切にするためのルール <input type="checkbox"/> 本気で怒るとき（いじめ、命にかかわること）を前もって説明しておく。 <input type="checkbox"/> 禁止、命令よりも、肯定的表現で具体的な行動を示す。 <input type="checkbox"/> 教師自らが丁寧な言葉や態度で子どもに接する。 ◎集団で何かをやるためのルール <input type="checkbox"/> 指示は一度にたくさん出さない。 <input type="checkbox"/> 朝の会、帰りの会のあいさつをしっかりとる。 <input type="checkbox"/> トラブルの後には、今度起こった時の対処を考えさせる。	<input type="checkbox"/> 活動前に、その都度ルールをみんなで確認する。 <input type="checkbox"/> 教師がモデルを示してからとりかかる。 <input type="checkbox"/> 手順を板書したり、ワークシートに示す。 <input type="checkbox"/> よくない例なども前もって示し、後追い指導を減らす工夫をする。 <input type="checkbox"/> 授業と関係ない発言は受け流す。 <input type="checkbox"/> ルールが守れたかを評価の観点に入れる。	<input type="checkbox"/> ソーシャルスキルトレーニング（SST）の活用。 <input type="checkbox"/> 体を使った活動や、ゲーム性の高い活動から実施（ねらいとルールを明確にして実施し、ルールを守ったことをほめる）。
4 斜めに伸びた分布（ルールづくり、リレーションづくり両方が必要な状態） 	<input type="checkbox"/> 子どもの意見をアンケートで集約し、ルールを決める。 <input type="checkbox"/> 感情的に叱ることを避ける。 <input type="checkbox"/> 学級生活不満足群の子どもへの個別対応が必要。 <input type="checkbox"/> まずは教師と1対1の信頼関係を再構築していく。	<input type="checkbox"/> 教師はチャイムが鳴る前に教室に入り、様子を見る。 <input type="checkbox"/> 活動は短く、テンポよく行い、やりきった感覚をその都度もたせる。 <input type="checkbox"/> ワークシートなどに教師がコメントを書き込み、子どもとつながるバンプとする。 <input type="checkbox"/> 早くできる子どもへの手立てを準備する。	<input type="checkbox"/> SGEなどは無理に実施しない（実施する場合、○×ゲームなど簡単なものからスタートする）。
5 左下に集まった分布（ルール、リレーションがともに喪失している状態） 	<input type="checkbox"/> 担任が孤軍奮闘せず、学校全体で取り組む。 <input type="checkbox"/> 子どもたちと再契約を行い、仕切り直しを図る（その際、管理職や学年主任にも入ってもらう）。 <input type="checkbox"/> 複数で学級にかかわる。 <input type="checkbox"/> 子どもたちの心身の安全に配慮する。	<input type="checkbox"/> TT、学級の分割、合同授業等を期間を決めて行う。 <input type="checkbox"/> まずは、個別学習（ワークシートなど）を中心にし、それぞれの子どもたちの学習権を保障する。	

4 学級づくりのための取組例

■ 道具を使わず、短い時間でのリレーションづくり！

ジャンケンほいほいゲーム（あと出しジャンケンでリレーションづくり）

● お勧めの使い方

- ・子どもの緊張をほぐす
- ・子ども感受性の幅を広げる
- ・学級への帰属感、リレーションを高める

● 進め方

1. 先生とあいこになるように「ジャンケン、ホイ！ホイ！」のかけ声で、あと出しジャンケンをする
2. 次は先生に勝つように、その次は先生に負けるように、1と同じやり方であと出しジャンケンをする

● クラスや場面に応じたアレンジなど

- 朝の会や帰りの会など、準備の必要がなく短時間でできる
- 体を使ってのジャンケンなど様々なアレンジが可能
- 短時間で楽しい雰囲気で行うことができるので、ルールづくりとしても活用可能

参考文献：稲田百合共著「じゃんけん遊びアラカルト」小学館

■ リレーションを育みたい学級にお勧め！

いいとこ四面鏡（友だちの力で、自分のことが好きになる）

● お勧めの使い方

- ・体育祭や文化発表会など学校、学級行事後の話し合い
- ・学期末の振り返り
- ・保護者会や教職員研修

● 進め方

1. ワークシート2枚に自分の名前とグループ（4、5人程度）の友だちの名前を書く
2. ワークシートの「私から見た私」の欄に自分のイメージに合う所に○を3個つける
3. ワークシートにグループのメンバーのいいところだと思ふところに○を3個つける
4. グループのメンバーに、他のメンバーからその人について○をつけたところを伝える
5. 終了後に、グループごとに感じたこと、思ったことを話し合う（シェアリング）

● クラスや場面に応じたアレンジなど

- シェアリングで、振り返りカードに記入し教師が紹介する（子どもの傷つきを防ぐ）
- いいところを伝えるときに、番号で伝えるより「○○さんのいいと思うところは□□です」とことばで伝えると効果倍増

参考文献：國分康孝監「エンカウンターで学校が変わる・中学校編」図書文化

■ 道具を使わず、10分でリレーションづくりと他者理解！

ラインアップ（いろいろな条件で並び替わり、友だちのことを知る）

● お勧めの使い方

- ・学級中でのリレーションづくり
- ・和やかな雰囲気づくり
- ・学級開き後の友だちづくりの支援
- ・子どもの体調チェック
- ・保護者会や教職員研修

● 進め方

1. 基準の場所を決め、いろいろな条件（誕生日順など）で、全員が見えるよう円形に並び替わる
2. 一人ひとり、または集団で確認をする

● クラスや場面に応じたアレンジなど

- ことば、ジェスチャーを使わずに並び替わる
- 睡眠時間順、理想の睡眠時間順に並ぶと、子どもの体調を知ることができる
- 保護者会では、子どもの誕生日順に並ぶと、保護者同士のリレーションづくりに

参考文献：プロジェクトアドベンチャージャパン著「プロジェクトアドベンチャー入門 グループの力を生かす 成長を支えるグループづくり」みくに出版

■ ルールづくりを進めたい学級にお勧め！

対決のアイメッセージ（あたたかい気づきを促す言葉）

● ルールが守られていない時

対決のユーメッセージ（主語が「あなた：you」）

例：「（あなたが）うるさい、静かにしなさい」

ユーメッセージの多用は、子どもと教師の関係性を破壊する

対決のアイメッセージ（主語が「私：I」）

例：「（私は）今、とても話がしにくくて、困っているのだけど…」

「困る」「残念」など、教師自身の気持ちを子どもに投げかけて伝える

☆子どもが修正行動をとったとき「ありがとう」を忘れずに（強化する）

● ルールが守られている時（子どもの発達段階に合わせて使い分けて）

ほめ言葉「（あなたは）偉いね」これは肯定ユーメッセージ（ちょっぴり上から）

勇気づけの言葉「ありがとう、うれしい、助かるなあ」これは肯定のアイメッセージ

● ルールが守られていないときも、守られているときにも、声をかけることを忘れずに！

参考文献：曾山和彦著「時々、“オニの心”が出る子どもにアプローチ 学校がするソーシャルスキル・トレーニング」明治図書

■ 単線型の学校にお勧め！

ジョハリの窓（話すことが苦手だけど、コミュニケーションできる）

● お勧めの使い方

- ・固定化された人間関係の打開策
- ・学級開き後の友だちづくりの支援
- ・保護者会や教職員研修
- ・小グループ化が進んだ学級の人間関係づくり

● 進め方

1. 4～6人程度のグループになる
2. その中の1人について、他のメンバーがジョハリの窓シートの項目で、その人にイメージに合う項目を「Aさんが、小さかった頃は・・・」と言って指さす



3. Aさんは「本当の私は・・・」と言って、自分の考えている項目を指さす



4. かわりあって言っていく
5. 終了後に、グループごと感じたこと、思ったことを話し合う（シェアリング）

● クラスや場面に応じたアレンジなど

- ジョハリの窓シートの内容を変えることによって、様々な場面で使える工夫が可能（例：小さかった頃、暇なときは・・・、好きな生き方など）
- 話をしたり、伝えることが苦手な子どもも、ことばを指さすことで伝え合うことが可能

平成22年度 高知県心の教育センター 温かい学級づくり応援事業

「学級経営支援講座」講演より 講師：逗子市教育研究所所長 鹿嶋真弓先生

■ フォーク型の学校のスタートダッシュにお勧め！

質問ジャンケン（聞いて話して、クラスの雰囲気づくり）

● お勧めの使い方

- ・学級開き後の友だちづくりの支援
- ・固定化された人間関係の打開策
- ・体験学習や体験活動後の話し合い

● 進め方

1. 2人組でジャンケンをする、勝った人は負けた人に1つ質問をする
負けた人は質問に答える
2. 相手を変えて何回か行う
3. 「新しい発見や気づき」など、全体の場で発表する（シェアリング）

● 学級や場面に応じたアレンジなど

- 質問のテーマを決めておく（例：学級開きの場合には、趣味や夢、好きな○○など）
- 質問の答えを準備しておく（時間の短縮と、答えることへの不安の軽減）
- 最初に「お願いします」、最後に「ありがとう」でSST

参考文献：國分康孝監「エンカウンターで学校が変わる・小学校編」図書文化

■ （資料） ジョハリの窓シート

1				
小さかった頃は…				
1	2	3	4	5
もの知り系の子だった	おとなしい子だった	いたずらっ子だった	活発な子だった	大人っぽい子だった

うえのシートを拡大し画用紙に印刷して使うと、他のクラス、学年で使えて便利です

資料1 RV-PDCAサイクルを活用した学級支援シート（小学校）

*記入例につきましては、HPをご覧ください

Q-U 学級支援シート

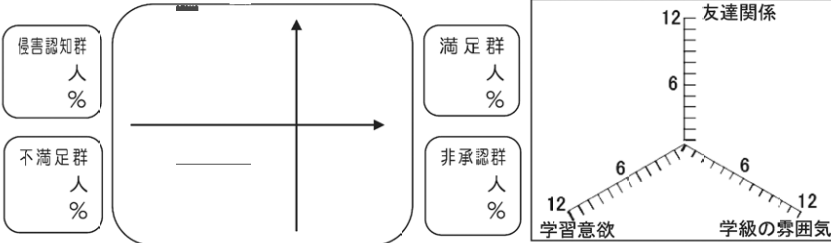
R esearch 学級集団の調査・アセスメント

小学校 年 組

児童数 () 人
男・女 (.) 人

1. 現在の学級集団のプロットと意欲プロフィール

(月 日 実施)



2. 学級の現状として考えられること

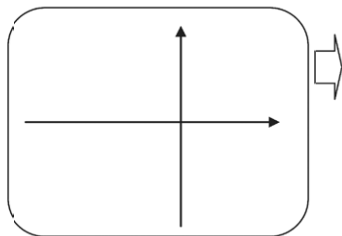
[Blank box for notes]

3. 個別支援が必要な児童の様子

①	
②	
③	
④	
⑤	

V ision これからの取組の方針

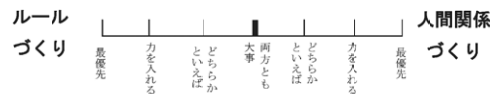
1. 目指したい学級集団のプロット図



2. 伸ばしたい意欲：次回の実施に向けてどの意欲を伸ばしていこうと思いますか。(○で囲む)

友達関係 学習意欲 学級の雰囲気

3. 支援のバランス：次回実施時までには次の2点についてどのようなバランスをもって取り組みますか。



P lan 具体的な取組の手立て

D o 実際の取組

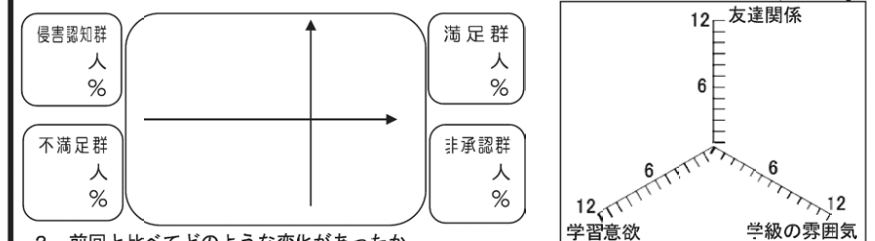
学級集団への支援	日常の学級活動	
	授業	
	特別活動・行事	
	校内・校外連携・保護者対応	
	(個別支援)	

個別支援

①	
②	
③	
④	
⑤	

C heck 取組についての評価

1. 2回目実施時の学級集団のプロット図 (月 日 実施)



2. 前回と比べてどのような変化があったか。

[Blank box for notes]

A ction 今後の取組に向けて

[Blank box for notes]

資料2 RV-PDCA サイクルを活用した学級支援シート（中学校）

* 記入例につきましては、HPをご覧ください

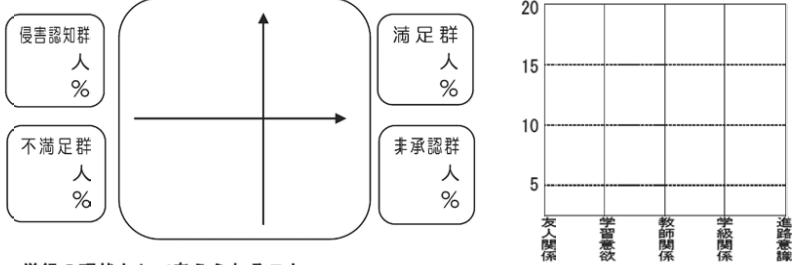
Q-U 学級支援シート

Research 学級集団の調査・アセスメント

中学校 年

生徒数 () 人
男・女 (.) 人

1. 現在の学級集団のプロット図と意欲プロフィール (月 日 実施)



2. 学級の現状として考えられること

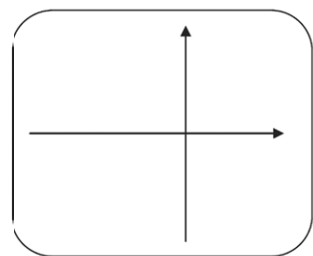
Blank box for describing the current status of the class.

3. 個別支援が必要な生徒の様子

(A)	
(B)	
(C)	
(D)	
(E)	

Vision これからの取組の方針

1. 目指したい学級集団のプロット図



2. 伸ばしたい意欲：次回の実施に向けてどの意欲を伸ばしていこうと思いますか。(○で囲む)

友人関係 学習意欲 教師関係 学級関係 進路意識

3. 支援のバランス：次回実施時までに次の2点についてどのようなバランスをもって取り組みますか。



Plan 具体的な取組の手立て

学級集団への支援

Blank box for planning specific support for the class group.

個別支援

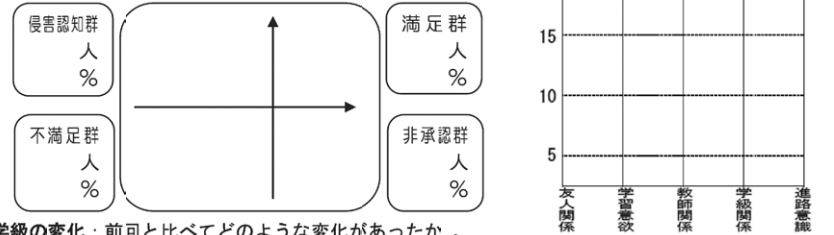
(A) _____
(B) _____
(C) _____
(D) _____
(E) _____

Do 実際の取組

Blank box for recording actual implementation.

Check 取組についての評価

1. 2回目実施時の学級集団のプロット図 (月 日 実施)



2. 学級の変化：前回と比べてどのような変化があったか。

Blank box for describing changes in the class group compared to the previous time.

Action 今後の取組に向けて

Blank box for planning future implementation.

資料に関するお問い合わせ先

高知県心の教育センター 〒780-8031 高知県高知市大原町1-3-2

TEL 088-833-2932 FAX 088-833-2935 E-mail 311902@ken.pref.kochi.lg.jp

HP <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311902>

本リーフレットの内容は心の教育センターHPで、ダウンロードできます。